

瑞穂市 1 人 1 台端末の利活用に係る計画

1 1 人 1 台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

令和の日本型学校教育において、1 人 1 台端末を活用した目指す学びの姿は、個々の児童生徒が自分のペースで学習を進められる「個別最適な学び」と、グループで協力して行う作業を通じて知識を深める「協働的な学び」を一体的に充実させるものです。ICT 環境の整備は、児童生徒がデジタル教材やオンラインリソースを活用することで、より多様な情報を取得し、自らの興味や関心に基づいた学びを深めることにつながります。また、教員は児童生徒一人ひとりの理解度や進捗状況をリアルタイムで把握したり、学習の記録を基に、適切な支援や評価を行ったりすることが可能となります。

2 GIGA 第 1 期の総括

GIGA スクール構想の第 1 期においては、全国的に 1 人 1 台端末の整備が進められました。瑞穂市においても、全ての小中学校においてタブレット端末が配布され、児童生徒一人ひとりがデジタルデバイスを利用できる環境が整いました。また、ネットワーク整備に関しても、高速大容量のインターネット回線が各校に導入され、安定した通信環境が確保されました。これにより、児童生徒はデジタル教材や協働学習支援ツールをスムーズに利用できるようになり、教育の質が向上しました。さらに、教員向けには ICT 活用研修が実施され、教員自身もデジタル技術を活用した指導力を高めることができました。

3 1 人 1 台端末の利活用方針

(1) 積極的な活用

生徒が日常的に文房具の一つとしてタブレット端末を使用することを目指します。具体的には、児童生徒が授業において、自らの興味や関心に基づいてデジタル教材やオンラインリソースを活用し、課題解決を図ったり、協働学習支援ツール等を活用し、自他の考えを交流したりする中で、学びを深めることを目指します。

(2) 個別最適な学び・協働的な学びの充実

児童生徒一人一人の学習スタイルや理解度に応じた個別最適な学びを行うとともに、グループ活動やプロジェクト学習を通じて協働的な学びを促進します。これにより、生徒同士が互いに学び合い、共に成長する環境を整えます。

(3) 学びの保証

全国的に不登校児童生徒や日本語指導等特別な支援を必要とする児童生徒等、様々な支援が必要な児童生徒が増加しており、このことは瑞穂市においても同様であります。ICT 機器を活用することにより、全ての児童生徒が安心して学べる環境の提供を目指します。